

自動車リサイクル促進センター 「まつやま環境フェア 2018」に初出展 2月17日～18日 会場「アイテムえひめ」にて 自動車リサイクルの取組を紹介 自動車リサイクルのイメージキャラクターも登場！

公益財団法人自動車リサイクル促進センター(所在地:東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館、代表理事:郡嶋孝 以下、「JARC」)は、2月17日(土)～18日(日)、アイテムえひめ(愛媛県松山市)で開催される「まつやま環境フェア2018」に初出展いたします。



自動車リサイクル博士

JARCは、今回の出展を通して、自動車ユーザーが負担しているリサイクル料金の使われ方や循環型社会に向けた関係者の取組や成果を、パネルや動画で紹介すると共に、実際にリサイクル工程で回収された金属などを展示するコーナーを設け、正しく、学ぶことができる場を用意しています。



リサイクル工程で回収された金属の一部

この他、会場には自動車リサイクルのイメージキャラクター 自動車リサイクル博士(通称:「博士」)も駆けつけ、来場者の方と交流します。

アンケートに回答いただいた方には数量限定で JARC オリジナルエコバックをプレゼントいたします。この機会に、ぜひ「博士」にあって、自動車リサイクルについて学んでみませんか。



エコバッグ

- 名称: まつやま環境フェア 2018
- 会場: アイテムえひめ(愛媛県松山市)
- 会期: 2018年2月17日(土)～18日(日) 17日 10:00～16:00、18日 9:00～15:00
- 入場料: 無料
- 主催: 松山市環境モデル都市推進課

➤ 展示ブース概要

- ・自動車リサイクルに関するパネル展示
- ・動画放映(おしえて! 自動車リサイクル)
- ・自動車リサイクルの実物展示(フロン、エアバック、シュレッダーダスト etc.)
- ・着ぐるみ(博士)との交流

➤ **自動車リサイクルシステムについて**

国内では年間約 310 万台(2016 年度)の使用済自動車が発生し、2005 年 1 月に発足した自動車リサイクルシステムのもと、自動車メーカーや関連事業者などの自動車リサイクルの関係者が適正なリサイクルの取組を進めた結果、リサイクル実効率 99%(車両重量ベース)を達成。

クルマはこうやってリサイクルされるんです

ユーザーはクルマを買うときリサイクル料金を支払います。

ながく大切に買った愛車もいつかは使わなくなります。

ユーザーが使わなくなったクルマを引取業者に引き渡します。

クルマの99%がリサイクル!

金属を原材料に戻してリサイクルします。残ったプラスチックやゴムなども原材料に戻したり熱源として再利用します。

クルマのボディをシュレッダー機で破砕します。

使える部品を取り外して中古部品として使います。

リサイクル料金を 使って処理する 3物品について

(ユーザーが支払ったリサイクル料金で特別に管理する物品)

シュレッダーダスト

クルマから有用な部品や金属資源などを回収した後のクズ(プラスチックやゴムなど)をシュレッダーダストといいます。シュレッダーダストを更に原材料に戻したり、熱源として再利用します。

フロン類

カーエアコンに使用されるフロン類は、オゾン層破壊や地球温暖化など環境によくない影響があるので大気放出を防ぐ必要があります。フロン類を回収した後、高熱で燃やして無害化します。

エアバッグ類

エアバッグ類には爆発性のあるガス発生剤が使われているので、クルマのリサイクルでは安全性を確保する必要があります。エアバッグ類を回収した後、金属部分を原材料に戻してリサイクルします。

➤ **公益財団法人自動車リサイクル促進センター(JARC)について**

自動車のリサイクル及び適正処理の促進に関する各種事業を行うことにより、資源の有効な利用の向上及び環境の保全に貢献することを目的とする公益法人。

所在地	: 〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館 11 階
設立	: 2000 年(平成 12 年)11 月 22 日
理事長	: 郡 嶋 孝
自動車リサイクル法指定法人業務の主務官庁	: 経済産業省、環境省
URL	http://www.jarc.or.jp/



お問い合わせ先：自動車リサイクルシステム **コンタクトセンター**

☎ 050-3786-7755 平日 9:00~18:00 (土日祝日・年末年始を除く)

(メディア関係者様のお問い合わせ先)

公益財団法人自動車リサイクル促進センター
 広報・理解活動推進室
 電話 : 03-5733-7144